



トロントの風

トロント補習授業校 学校だより
令和6年6月1日 No.8
校長 近藤 仁巳

新入生歓迎会・生徒総会（高等部）

5月25日（土）に高等部では、1年生を歓迎し、高等部全体で親睦を深めるために、新入生歓迎会が開かれました。生徒の名前が書かれた付箋紙を一人一枚ずつ背中に貼ってもらい、それが誰なのか（名前）を知るために、周りの人たちに名前ではなくヒントをもらって回る、というルールでした。

短時間の会でしたが、ゲーム楽しみながら心の距離を縮めていきました。



歓迎会に続いて生徒総会が開かれました。昨年度の活動報告と、今年度の生徒会役員選挙を実施しました。立候補生徒は、役員として何を頑張りたいか、どんなことを実現したいのかなどについて、全高等部生徒、教員の前で自分の思いを伝えました（所信表明演説）。その発表の姿はそれぞれに熱く、仲間に訴えかける一生懸命な姿に、私たち教員も引き込まれました。

選挙の結果、会長1人、副会長2人が選出されました。また、会長、副会長を含む生徒会執行部役員7人が信任されました。

高等部で貴重な学びの機会、大切な仲間に出会えた、この補習校に通ってよかった、と感じられるように、自分にできることを見付け、みんなで生徒会活動を盛り上げていただけたらありがたいと思います。



アサガオのたねを観察しました(小1)

小学部1年生の教室では、生活科の学習でアサガオのたねの特徴を観察していました。手触りを確かめたり、においを感じたりした後、虫めがねを使ってじっと形や色などをながめ、ワークシートに大きく描いていきました。

アサガオはツル性植物の代表格でグングン伸びるため、見た目の変化が大きいという特徴があります。種まきから発芽、葉の展開、ツルが伸びて開花、という一連の流れを比較的短期間で観察できることから、お子さまが植物の成長を期待し、世話をする活動にはとても適しています。

花が終わった後、たねをとったり、つるでリース



「お月さまみたい…」

を作ったりなども楽しむことができたなら、さらによい体験になることと思います。



1回目の朝読書を実施しました

今年度第1回目の朝読書を実施しました。

1時間目の授業が始まる前、通常時は朝の会、出欠確認、提出物回収、配布物等で時間の流れが速い感じもありますが、朝読書を実施した先日は、自席で本を読み、みんなで落ち着いて過ごす朝のひとつとなりました。

下の画像のクラスでは、多くの子が家から本を持参していました。最後にどんな本か上にあげて見せ合いをすると、友達の本に興味を示す子が何人も見られたとのことでした。

自宅で本を読む時間の余裕は…というお子さまには特に、朝読書の時間を本に親しむきっかけとして活用していただけたらと思います。



「…」(しずかに よんでいます)

